

第2回粉末回折法討論会開催のお知らせ

20世紀第四四半期においてリートベルト法を起爆剤として発展してきた粉末回折法は、中性子および放射光光源を用いて高分解能回折データが得られるようになり、未知結晶構造解析、リートベルト法による構造精密化、マキシマムエントロピー法を用いた電子密度分布解析等、材料構造解析に必用不可欠な手段となった。しかし、未知結晶構造解析一つを見ても、伝統的な直接法以外に最近ではモンテカルロ法、シミュレ-テッドアニ-リング法、ジェネティックアルゴリズム等が使用されるようになり、ここ10年間でもその進歩は目を見張るものがある。

この討論会は、粉末回折法の方法論に重点を置き、新しい応用法、解析精度、可能性等を辛口で討議することを目的としている。また、同時に解析の現場から直接声を聞き、これからの材料構造解析に対して粉末回折法で何ができるかということも討論する。

記

会 議：第2回粉末回折法討論会：近年における方法論の発展
日 時：2001年5月10日(木) 1:00 P.M.より11日(金) 4:00 P.M.まで
場 所：高エネルギー加速器研究機構・3号館・セミナーホール
住 所：〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1
交 通：東京駅八重洲口より直通高速バス(ニューつくばね号)で「高エネルギー加速器研究機構」前下車、所要時間は1時間半
参加費：無料(10日夕刻から開催の懇親会は有料)
主 催：フォトンファクトリー粉末回折ユーザーグループ、粉末中性子回折グループ、高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所
協 賛：日本結晶学会、日本セラミックス協会
連絡先：〒507-0071 多治見市旭ヶ丘10-6-29
名古屋工業大学・セラミックス研究施設 虎谷秀穂
TEL：0572-27-6811(代表)、0572-27-9960(ダイヤルイン)、FAX：0572-27-6812
e-mail：toraya@crl.nitech.ac.jp

注) プログラム正式決定後、開催時間が30分程度前後することがあります。また、プログラムの直接入手(3月以降)をご希望の方は、上記連絡先まで(できれば電子メールで)お知らせ下さい。